

福井県美浜町議

松下照幸氏 講演会

原発に頼らない地域づくりとは

福井県美浜町には関西電力美浜原子力発電所が1～3号機まであり、日本で初めての加圧水型商業炉の1号機、そして2号機が2015年に廃炉を決定され廃炉作業が実施されている。1976年に運転開始した3号機も老朽化が進んでいる。原発依存率が高い美浜町財政は2基の廃炉によってどのように変わってきているのか。定期点検がなくなる、固定資産税の減少、関連企業の縮小、廃止、原発関連交付金の減額等々。また、老朽原発3号機の再稼働に対する不安。原発に変わる財源はあるのか。

「原発があることの不安」と「なくなることの不安」

泊原発が運転停止して10年、原発から出される高レベル放射性物質＝ゴミ処分地の問題が神恵内村、寿都町に持ち上がった。原発の後始末は電力消費地の問題ではないのか。既に原発廃炉作業に入っている美浜町と、泊原発を抱える岩宇4町村、そして核ゴミで揺れている寿都町を重ね合わせ、原発に頼らない地域づくりとはを皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

講師：松下 照幸 さん

原発銀座といわれている若狭湾に位置する福井県美浜町で町議会議員をしており、美浜原発廃炉後の地域社会をどう創造していくのか、積極的な活動を行っている。地元で「森と暮らすどんぐり倶楽部」を立ち上げ、自然体験活動などをおして地域ビジネスモデル作成し具体化している。原発廃炉後の美浜町の未来像を議論するため町へ政策提言をしている。



日時 2022年 **6月25日** (土) 午後2時より

(開場 午後1時30分)

場所 岩内地方文化センター研修室 岩内町字万代51-7

入場料 資料代として500円をご負担願います。

主催 泊原発立地4町村住民連絡協議会 問合せ先 090-8899-9240 (佐藤英行)
岩宇・寿都地域振興プラン作成委員会 (座長 小田清)